

1. 科目名 (単位数)	国語 (書写を含む) (小) (2 単位)	3. 科目番号	EDEL2301 SJMP2381						
2. 授業担当教員	手計 茂								
4. 授業形態	講義 演習 討議 発表	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	特になし								
7. 講義概要	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めることは、私たちが豊かな言語活動を展開するために必要不可欠である。加えて子どもたちに国語への関心を高め、国語を尊重する態度を育てるためには、指導者が母語 (日本語) に愛着心を抱き、日本語についての確かな知識を身に付けることが大切である。指導者が言語感覚・能力を培い、思考力・判断力・表現力を育成することが、感性や情緒を幅広く、人間形成や社会参加につながることを理解した上で、子どもたちの発達段階に応じた国語教育のあり方について学習する。								
8. 学習目標	<p>国語に対する関心を深め、思考力や想像力、言語感覚を磨き、国語を尊重する態度を育てるためには、指導者自らが、日本語についての正しい知識を身に付ける必要がある。そのために、次のことを学習目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本語の現状と、日本語を取り巻く課題、問題点等を理解することができる。</li> <li>2 小学校の「国語科」を指導する教師として必要な「日本語」についての基礎的知識を身に付けることができる。</li> <li>3 「国語科」の教材としての「日本語」を考えることができるようになる。</li> <li>4 我が国の言語文化を継承・発展させ、よりよい言語生活の実現に向けて、これからの国語力や国語教育について考えることができるようになる。</li> </ol>								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>(1) アサインメント 適宜指示する。 書写用の筆、下敷き、墨汁、半紙を用意しておく。(小・中・高等学校で用いた筆でもよい。講義 4 回日以降で使用。使用前には連絡する)</p> <p>(2) レポート課題 各授業における「振り返りカード」や、その他の課題を毎回提出する。 課題は期日を守って提出する。遅れは減点対象。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>教科書】① 『小学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版社。 ② 文部科学省『幼稚園教育要領』</p> <p>【その他の教材】 授業において適宜配付する。保存や整理を確実にしておくこと</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本語 (国語) の現状と、日本語を取り巻く課題、問題点等を理解することができたか。</li> <li>2 小学校の「国語科」を指導する教師として必要な「日本語」についての基礎的知識を身につけることができたか。</li> <li>3 我が国の言語文化を継承・発展させ、よりよい言語生活の実現に向けてこれからの国語力や国語教育について考えることができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>授業への積極的参加態度</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>宿題、レポート、小テスト等</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>期末試験</td> <td>20%</td> </tr> </table> <p>上記のほか、本学の規定に定められている 3 / 4 以上の出席が単位の条件である。</p>			授業への積極的参加態度	40%	宿題、レポート、小テスト等	40%	期末試験	20%
授業への積極的参加態度	40%								
宿題、レポート、小テスト等	40%								
期末試験	20%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>「教育は人なり」。保育者・教育者の言動、特に発する言語は、幼児や児童にとってお手本そのものです。言語技術の低い保育者と出会った子どもたちは、恵まれない環境に置かれたと言わざるをえません。まず保育者・教育者自身がわかりやすく論理的な話し方ができるようになり、その上で児童や幼児の書く力や読む力、話す力、聞く力、そして情緒力を育てていくのです。</p> <p>テキストを読むときは音読をし、演習や話し合いをたくさん行います。座席は指定です。目の前にいる子どもたちにとって、かけがえのない保育者になるという自覚をもって、積極的に授業に臨んでください。</p>								
13. オフィスアワー	別途通知する								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	オリエンテーション 保育・教育の現場で求められる言語	事前学習	自分が受けてきた国語の授業について、経験をまとめておく。						
		事後学習	幼稚園教育要領と国語科教育の関連についてまとめておく。						
第 2 回	言葉を磨き、学ぶということ	事前学習	読む・書く・話すがどのようにして整理されたか想起しまとめておく。						
		事後学習	折々の言葉について、考える時間をつくる。						
第 3 回	学習指導要領以前の国語科教育 「国語科の歴史」	事前学習	自分が受けてきた国語科の授業を整理しておく。						
		事後学習	現行の学習指導要領のポイントをまとめ、暗記する。						
第 4 回	書写の役割と目的①「硬筆」実技	事前学習	小・中学校時代の書写の授業における自らの経験を想起し、まとめておく。鉛筆の準備。						
		事後学習	姿勢と鉛筆の持ち方・運び方を練習する。						
第 5 回	書写の役割と目的②「毛筆」実技	事前学習	毛筆で何が苦手かを明確にしておく。用具の準備。						
		事後学習	姿勢と毛筆の持ち方・運び方を練習する。						

第6回	表現力① 絵本読み聞かせとスピーチ 解説と準備	事前学習	スピーチの話題について探しておく。
		事後学習	紹介する絵本の選択とスピーチ原稿の推敲。
第7回	表現力① 絵本読み聞かせとスピーチ 発表会 感想と評価	事前学習	時間内に効率的に発表できるよう練習しておく
		事後学習	多くの絵本を読む。
第8回	伝統的な言語文化 ことわざ・慣用句	事前学習	日本に古来から伝わることわざ・慣用句について想起しておく。
		事後学習	文化庁の資料をもとに、正しい使い方ができるようにする。
第9回	伝統的な言語文化 文法	事前学習	小・中学校時代の文法の授業における自らの経験を想起し、まとめておく
		事後学習	文法の重要性についてまとめておく
第10回	伝統的な言語文化 発音・アクセント・方言	事前学習	日頃どんな言葉を使っているか調べる
		事後学習	日常に使われている例を調べる。
第11回	論理的な表現 具体と抽象	事前学習	最近の若者言葉について想起する
		事後学習	若者言葉について考察のまとめをする
第12回	文学的な文章の読解と演習①	事前学習	印象に残っている作品を想起する。
		事後学習	感想の視点を多く持つ。
第13回	文学的な文章の読解と演習②	事前学習	題名から、内容を想起する。
		事後学習	感想の視点を多く持つ。
第14回	絵本の発表会 劇 演習	事前学習	発表の準備をしておく
		事後学習	多くの絵本を読む
第15回	演習 言葉と私 言語感覚を磨く	事前学習	言葉の持つ力について、まとめておく。
		事後学習	「学ぶということ」の考察をまとめる。